

# 2017年 ネパール旅行記

天候に恵まれ、待望のエベレスト遊覧飛行を楽しみました。

旅行期間 2017/03/04~03/11 寄稿:西村静雄



左奥雲を抱く最高峰がエベレスト

私は3月4日から11日まで、昨年スイスに行った大学時代の山仲間とネパール旅行のツアーに参加しました。

マレーシア航空で、あの事件があったクアラルンプール空港経由で、ネパールの首都カトマンズ国際空港に降り立ちました。



カトマンズ市内・猿の群れ

カトマンズ市内は乾季でもあり、砂塵が舞い上がっていました。早速、我々は全員、ツアー会社支給のマスクを着用しました。

街の中には、猿が居たり、道路を悠然と闊歩する牛が居たり、早速カルチャーショックです。

また観光地は2015年の大地震の傷跡が生々しく残り、あちこちで修復作業中や、倒壊防止のつかい棒が至る所にありました。予算が付かず、放置された文化財も多々ありました。



カトマンズ市内・電柱と電線



カトマンズ市内  
ダルバール広場

二日目はいよいよ待望のエベレスト遊覧飛行に出かけました。天候に恵まれ、快晴となりました。早朝6時30分発の飛行機で全員が窓側1列のみ着席し、窓越しにエベレスト山脈を観て、デジカメに収めました。



左奥雲を抱く最高峰がエベレスト



コックピットから観たエベレスト

そして1人ずつ操縦士のいるコックピットに呼ばれ、壮大で綺麗なエベレストを観ることが出来ました。

前後のツアーの人達は天候が悪く、フライトさえなかったが、我々は一発で大きくて崇高なエベレストを観ることが出来、とてもラッキーでした。

連日、ネパール料理、チベット料理のオンパレードでチキンを中心とした、香辛料が効いた料理でいささか閉口致しました。そこで、ツアー会社が気を効かせて、日本人が経営するレストランで幕の内弁当を頂き一息つくことが出来ました。



ポカラ市内・極彩色のトラック

三日目はネパール第二の都市「ポカラ」に移動しました。



アンナプルナ

今回のツアーは山を観るツアーの関係で、連日4時から5時起きで、朝食前に、懐中電灯を持参して展望のいい山に登りました。

御来光を観ながら、待望のアンナプルナの山々を観て、また感激しました。

四日目は、また違う展望台でモーニングコーヒーを頂きながら御来光を仰ぎました。そして下山してからホテルで朝食を頂きました。





今回はヒンズー教を中心としたチベット文化、ネパール文化に触れることが出来ましたが、顔つきだけ見ていると日本人と間違える位で親近感も感じました。

私は山に憧れを持ち、いつかはエベレストを自分の目で見たい！ことが出来とても幸せなツアーと成りました。

さて次回は何処に行こうかと相談しながら帰国の途に着きました。とても充実したネパールの旅で大満足でした。